

1. 本園の教育目標

教育目標 目指す幼児像	「あそぼう まなぼう いきいきと」 ・心身ともに健康で、明るく元気な子ども ・元気にあいさつする子ども ・人の話を聞き、自分の思いを話せる子ども ・豊かに表現できる子ども	・相手を思いやる子ども ・よく考える子ども ・あきらめないで挑戦する子ども
----------------	---	---

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 研究主題「あそぼう まなぼう いきいきと」～キラキラ えがおいっぱい 一人一人が輝く保育を目指して～を掲げ、幼児の実態に合わせた一人一人に寄り添う保育をするために、職員間で話し合い共通理解をしながら取り組む。
- 園児が、伸び伸びと自己発揮しながら遊べる環境づくりに努める
- 基本的生活習慣の確立と規範意識の芽生えを大切にしながら生きる力の基礎を育てる。
- 聞く力や話す力を養い、自己表出できる言語力や表現力を高める。
- 研修会や研究会に進んで参加し、自己研修に努める。

3. 評価項目・評価・取組と達成状況

評価項目	評価	取組と達成状況
(1)教育目標・指導指針	A	・園の教育目標「あそぼうまなぼういきいきと」は、PTA会議、園だより、掲示板などで知らせ周知徹底をした。保護者にも覚えやすく年度末のアンケートではA(十分)83%がB(おおむね)17%わかりやすいという結果であった。4月当初に全職員によるKJ法による研修で「子どもにどのような力を育みたいか」「どのような園の環境構成や援助が必要か」について話し合い、目標を共通理解することができた。保護者の方に理解を得られるように努め、園だよりで学年の目標を知らせるようにした。園が大切にしている保育の進め方や願いなど踏み込んだ内容を保護者に知らせていきたい。
(2)保育の在り方・幼児への対応	A	・保護者アンケートの結果、100%の保護者より「園児は楽しく幼稚園に通っている」という回答をいただいた。教職員と保護者の方が共に信頼関係をもちながら、子どもたちの発達を促し、共に成長を喜び合えたことは、とてもうれしい。 ・基本的生活習慣面(挨拶、返事、片付け等)については、毎日の挨拶指導に加え、積極的な挨拶、園児による挨拶運動「おはようマン」も継続できた。
(3)保護者対応・地域との連携	A	・幼児一人一人に愛情をもって接し、全職員でチームとなりながら保育や行事に取り組んできたこと、保護者の方との対話を大切にしてきたことにより、保護者の方も安心して子どもを園に通わしていただいたことと思う。 ・昨年度に引き続き地域の方の協力をいただき、PTA役員と共に話し合い、行事に参画していただくなど、地域のみならず自園の子どもを育てる連携したつながりをもつことができた。園はその皆様の温かい協力体制に感謝しながら、より一層子どもを育てていきたい。
(4)環境整備・安全確保	A	・大切な子どもたちの命を園で預かる上で、安全で安心した環境づくりの徹底をしてきた。毎月1日の安全点検では危険箇所がないかのチェック、火災、地震、防犯についての避難訓練は計画的に様々な時間帯や場面を想定してマンネリ化しない訓練を実施してきた。職員自らが危機管理し判断する力を高めるようにしてきた。講師を招いて親子防災教室を実施したことで子どもも保護者も共に防災に対する意識と心構えが身についた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・園が掲げる教育目標や目指す幼児像に少しでも近づけるように、第一に保護者と信頼関係を築いた上で、協力をいただきながら共に子育てするという園づくりを目指してきた。また、園内だけにとどまらず、地域の様々な方に幼稚園を理解していただき、少しでも幼稚園や子どもたちのためにできることをやろうと思っただけのように努めた。開かれた園づくりをするためには、地域に直接足を運ぶことや外部へ園の情報を発信することが大切であると考えている。今後も、大きな課題ではあるが、進めていきたいと思う。
- ・園内の教職員が一致団結してチームで保育にあたり、子どもたちの人権を尊重しながら愛情をもって接してきた。このことが子どもたちの安心した居場所となり、伸び伸びと力を発揮しより豊かに育っていくことであると考える。これからも、職員同士が連携して、協力して保育にあたり、子どもたちの育ちを守りたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
保育内容の充実	・季節や子どもの発達に即した環境構成を工夫する ・自然、体験活動を取り入れた保育計画
教員の資質向上	・園内研修方法を工夫する ・はぐくみ講座実施
子育て支援	・未就園児保育を0歳～3歳と幅を広げ、子育て支援の充実を図る

6. 学校関係者評価委員会からの意見と今後の改善について

- ・園庭の花壇がとてもきれいに整備されている。運動会は、園庭で学年ごとに実施していたが、先生方の動きがてきぱきとしていて無駄がなく、笑顔でたくましく汗だくで子どもたちに接し、おひさま隊も意欲的に協力し、非常に良い運動会だった。
- ・今年度、幼稚園に伺い、子どもたちの活動する様子を見たり、行事に参加させてもらったりした。生活発表会の劇遊びを見て、子どもたちのキラキラした目、大きな声、いろいろな表情にいろいろな形の可愛さがあり、幸せな気持ちになった。先生方の子どもたちと向き合う姿がかっこよく、大人だからという圧がなく、子どもたちと横と一緒に手をつなでたくさんのかっこいいことを乗り越えていっているように感じた。今年の園は、子どもたちにとっても保護者にとっても幸せを感じさせてもらったと思う。
- ・子どもたち一人一人の個性と保護者の気持ちに寄り添ってくれる心の温かい先生たちに囲まれている子どもたちは本当に幸せだと感じている。子どもたちに愛をもって毎日保育の工夫をしていただいている先生方に感謝している。
- ・行事の度に、保護者の中から「できるときにできる人」がおひさま隊として協力参加できるような体制づくりをしていってほしいと思う。